

令和4年第3回定例会 文書質問
 山中 ちえ子 議員

回 答 書

I. 新型コロナワクチンについて	
質問の要旨 ①	1. 区内のコロナワクチン後における「死亡も含めた健康被害の実態」は現在、区では「コロナワクチン接種に係る健康被害救済制度」への申請状況しか把握していない。 どのような課題があるか知る上でも、調査し明らかにして、まだ続くであろうコロナ禍でも健康的な暮らしを保障するため、区民がコロナ感染から命を守るワクチンを含めた方法を自分で考え、正しく選択できる参考となるよう公表すべきではないか。
回 答 ①	副反応疑いについては、重篤及び死亡を含めて国が集計し、公表しております。区といたしましては、健康被害の実態を調査することは考えておりませんが、足立区医師会の意見や報告を伺いながら、健康被害救済制度で申請があったもののうち、どのような症状が国に認定されたかを健康被害の参考例として公表してまいります。 (担当所管：新型コロナウイルスワクチン接種担当部 新型コロナウイルスワクチン接種担当課)
質問の要旨 ②	2. コロナ感染の恐さは、症状が出る前などの無症状のうちに感染を拡げる特徴を持っている事だ。このことから、ワクチン接種に積極的になる傾向がある。また、コロナ感染対策として、比較的、検査体制の充実よりも先行してワクチン接種の重要性がマスコミなどで大きく取り上げられてきた事から、区民がワクチン頼みになっている傾向があると考えます。 これらの点から区は、区民が感染から身を守るワクチンに対する正しい知識をより多くの区民に理解されるような対策をとるべきだ。 ワクチン接種券に注意事項は記載されているものの、同時にコロナワクチンを控えたほうが良い方やワクチンは受けることが出来ない方が、医師との丁寧な問診を省き、間違っって接種する事がないように対策をとるべきではないか。

<p>回 答 ②</p>	<p>ワクチンに関する効果や副反応、接種を受けられない方、注意が必要な方などの情報については、ワクチン相談ダイヤルでご案内しているほか、区ホームページにも掲載しております。</p> <p>また、接種会場では個別接種、集団接種とも医師による個別の問診を実施したうえで、本人の希望により接種を実施しております。引き続き、接種を適切に進めてまいります。</p> <p>(担当所管：新型コロナウイルスワクチン接種担当部 新型コロナウイルスワクチン接種担当課)</p>
<p>質問の要旨 ③</p>	<p>3. 区民が安心してコロナ感染から命・健康を守るワクチン接種となるように、接種予約のキャンセルがあっても、せわしく無理にはキャンセルの穴埋めをしないよう、医師には改めて通知を出すべきではないか。</p>
<p>回 答 ③</p>	<p>接種開始当初はワクチンの供給量が限定的であったため、貴重なワクチンが無駄にしないよう、医療機関においてキャンセル待ち対応を実施していたと考えられますが、その際も被接種者から接種希望を確認のうえ、接種を実施しております。</p> <p>また、現状は十分な量のワクチンが供給されているため、キャンセル待ち対応は実施しておりませんが、念のため、足立区医師会のワクチン分科会や感染症対策委員会でご意見をお伝えします。</p> <p>(担当所管：新型コロナウイルスワクチン接種担当部 新型コロナウイルスワクチン接種担当課)</p>
<p>質問の要旨 ④</p>	<p>4. かかりつけ医師が居ない上に不健康を抱え、引きこもり、困難を抱えている若者等への支援を強め、安心してワクチン接種ができるように対策すべきではないか。</p>
<p>回 答 ④</p>	<p>重度の障がいがある方や介護が必要な方など接種会場に行くことが困難な方に対しては、あだち広報で周知したうえで、足立区医師会の協力により在宅接種を実施しており、今後も引き続き実施していただけることになっております。</p> <p>また、現在、区のワクチン接種は、医療機関による個別接種中心で進めており、かかりつけ医がいなくても接種可能となっております。</p> <p>(担当所管：新型コロナウイルスワクチン接種担当部 新型コロナウイルスワクチン接種担当課)</p>

<p>質問の要旨 ⑤</p>	<p>5. コロナワクチン接種時に、ワクチン希望があっても、発熱があれば接種せず、早急に PCR 検査を案内する、予後の確認受診を案内する等、改めて医師らの共通認識にするよう医師会に要望するべきではないか。</p>
<p>回 答 ⑤</p>	<p>各医療機関の接種については、当然ながら適切に対応していると伺っておりますが、こうした声があることについて、足立区医師会にはワクチン分科会や感染症対策委員会を通じて伝えてまいります。</p> <p>(担当所管：新型コロナウイルスワクチン接種担当部 新型コロナウイルスワクチン接種担当課)</p>

Ⅱ. 暴力、家族の在り方への介入から区民を守り、一人ひとりが人生をどう生きるのか自由に選択できる区政の実現について

<p>質問の要旨 ①</p>	<p>1. 今、次々と明らかになっている自民党と「世界平和統一家庭連合（旧統一教会）」の深い関係の中、性教育やジェンダー教育、男女共同参画社会をめぐる政策が全く後ろ向きに推移している事は深刻だ。夫婦が別姓を名乗って生きる選択肢を認める選択的夫婦別姓制度さえ、いまだに法制化しないままだ。</p> <p>旧統一教会は 80 年代から金集めの靈感商法が問題となり裁判で取り上げられ、「全国靈感商法対策弁護士連絡会」が結成されている。いわゆる反社会的カルト教団といわれている。</p> <p>10月14日、消費者庁の有識者検討会が旧統一教会について、宗教法人法に基づく「調査」を行うよう所管庁に提言を求める調整をしているとの報道があった。これは、教団をめぐる現状について「法令に違反し、著しく公共の福祉を害する行為をした」「宗教団体の目的を著しく逸脱した行為をした」など、宗教法人法に定める解散事由に該当する疑いがあると関係者が指摘しており、提言をまとめる事となったもので、当然のものと考ええる。民事訴訟で教団の組織的な責任を認める裁判例が積みあがっている事等を指摘する見通しで、調査が入れば、その結果次第で教団の解散命令請求に繋がる可能性もある。</p> <p>この団体は、同時に国内の教育機関での性教育への攻撃を繰り返してきた団体だ。これは、「神に全て委ねる」というマインドコントロールの下で、自分で判断し行動する事や恋愛関係を育むことは、神の「摂理」に反する行為だとする教義をもったカルト教団だ。</p> <p>①その元で、二世信者を作る内部固めから信者の子ども等を守る意味でも、包括的な性教育、リプロダクティブ・ヘルス&ライツ＝「性と生殖に関する女性の自己決定権」と自己決定した内容を実現するための「ヘルスケアを得る権利」について進め、未婚でも差別されず、子育て中もキャリアを築けるような労働時間や柔軟な勤務形態などの働き方の抜本的な見直し、社会福祉の充実に努めるべきではないか。</p>
<p>回答 ①</p>	<p>まず、包括的性教育について進めるべきとのご質問についてですが、区内の産婦人科医や元中学校教諭の方が立ち上げておられる「性の学びのプロジェクト」について、既に直接お話を伺っております。さらには現在区が検討を進めている「生命の安全教育」との関連性や連続性などについて、協議を始めているところです。この「性の学びのプロジェクト」を、まずは「生命の安全教育」の発展的カリキュラムとして、希望する学校で実施できるよう検討して参ります。</p>

	<p>また、リプロダクティブ・ヘルスライツについては、多様性社会推進課の事業として、これまでも年に数回講座を実施しております。</p> <p>未婚でも差別されず、子育て中でもキャリアを築けるよう、ワーク・ライフ・バランスの推進や様々な啓発を企業や区民に向けて実施しておりますが、さらに浸透するよう、区の意識調査の結果を活用する等、意識改革につながる周知啓発に努めてまいります。</p> <p style="text-align: center;">(担当所管：教育指導部 教育指導課、 地域のちから推進部 多様性社会推進課)</p>
<p>質問の要旨 ②</p>	<p>②また、消費者庁の有識者検討会が宗教法人法に基づく調査を行うよう所管庁に求めることと同様に、23区区長会から文部科学省など関係省に対して調査を求めるよう、区として提案すべきではないか。</p>
<p>回 答 ②</p>	<p>関係省に対する宗教法人法に基づく調査の要求についてお答えします。現時点では、区として23区区長会で意見を上げるよう提案する考えはございません。今後も国や東京都、他自治体の動向を注視してまいります。</p> <p style="text-align: right;">(担当所管：総務部 総務課)</p>
<p>質問の要旨 ③</p>	<p>③富山県では「世界日報」で長年記者をし、旧統一教会の広報部長までやった人物が2006年から男女参画推進員を務めていた。女性総合センターの「ジェンダー関係等の書籍や男女共同参画や女性史約150冊に苦情申し立てする」また、「和やかな家庭を作る事」といったメッセージが盛り込まれた男女共同参画の理念とはかけ離れたメッセージが入った朗読劇を男女共同参画政策として行うなど、ある意味、地道な「草の根」運動が行われていた。</p> <p>2006年に第一次安倍政権のもと教育基本法が改定され「愛国心」「家庭教育」が盛り込まれ、親が「教育の第一義的責任を有するもの」とされた。2014年自民党改憲草案では「家族は社会の基礎的な単位として、尊重される」という条項が新しく新設され第13条の「個人」が「人」に変更されている。個人よりも「家族」を尊重する、という点を「共通項」として、旧統一教会と自民党支持団体は自民党を支持してきたといえる。家族と聞けば何となく良いものと思う。しかし、この流れをくむ「家庭、家族」は女性をより抑圧し、性的マイノリティーを排除するものであり、自治体や教育に扱うことは注意が必要だ。区における男女共同参画事業の取り組みの中に、この性質の逆流があってはならないと考える。改めて確認すべきではないか。</p>

<p>回 答 ③</p>	<p>当区の男女共同参画事業は、女性や性的マイノリティの方も含め、性別に関わらず、個として誰もが尊重され、活躍できるまちの実現に向けて取り組んでおります。</p> <p>計画策定や事業評価に際しても、区職員だけでなく、区民を含む男女共同参画推進委員会の委員が、男女共同参画社会の実現を阻む性質の逆流がないよう意識して検討し、取り組みを進めておりますが、改めて男女共同参画事業の取り組みの中にそのような事業がないか確認するとともに、庁内関係所管にも注意喚起してまいります。</p> <p>(担当所管：地域のちから推進部 多様性社会推進課)</p>
<p>質問の要旨 ④</p>	<p>2. 今年、区内の中学三年生の自宅に「自衛隊勧誘」の手紙が送付された際、保護者からは「子どもの名前も記載されて、自宅に直接届くこと自体が不気味だ」との声が寄せられている。</p> <p>①この間の自衛隊内部での性暴力事件を重く受けとめ、自衛隊体質改善の要望を区として自衛隊に提出するべきではないか。</p>
<p>回 答 ④</p>	<p>性暴力はいかなる組織においてもあってはならないものと認識しております。しかしながら、組織における対応や対策は当該組織が責任をもって実施すべきものであることから、現在のところ、区から自衛隊に対して個別に自衛隊内部の体質改善について要望する考えはありません。</p> <p>(担当所管：危機管理部 総合防災対策室 災害対策課)</p>
<p>質問の要旨 ⑤</p>	<p>②今後は自衛隊勧誘の手紙を中学三年生に送付させない事を、責任ある行政として自衛隊に求めるべきではないか。</p>
<p>回 答 ⑤</p>	<p>区では、防衛大臣からの要請に基づき、住民情報の閲覧を自衛隊に対し行っております。採用活動は、法律に違反しない範囲において、その組織が手段・方法を選択していることから、中学3年生への勧誘の手紙を送ることを自重するよう区から要望する考えはありません。</p> <p>(担当所管：危機管理部 総合防災対策室 災害対策課)</p>